

特別支援教育

(1)目標

一人ひとりがかげがえのない存在である事をしっかりふまえ、障害児に対して、差別や偏見を持たないよう、全児童に具体的な指導をはかる。どの子にもそれぞれの子どものたちの発達に応じた学習の場を保障する。

(2)実践目標

一人ひとりの子どもをよく知り、可能性を見出し、個々の発達に応じた指導をする。
なかよし学級の児童と全児童との交流を深め、仲間づくりをする。
盲学校や紀伊コスモス支援学校との交流を続け、障害児の理解を深める。
なかよし学級の児童について全職員がよく知り、支えていく。
特別支援教育について、保護者の正しい理解を得るようにする。
特別支援教育について研修を深める。

(3)取り組み

なかよし学級

- ・子ども一人ひとりに合ったカリキュラムを作成する。
- ・基本的生活習慣を身につけさせる。
- ・個々の家庭との連絡を密にする。

通常学級

- ・各学年・学級の子どもたちとなかよし学級の子どもたちとの交流をもつ。
- ・投げ入れ教材などを通じて、特別支援教育の充実を図る。

盲学校・紀伊コスモス支援学校との交流

- ・盲学校の子どもたちと各学年・学級の子どもたちが交流する。
- ・紀伊コスモス支援学校と4年生・該当学年(居住地校交流など)の子どもたちが交流する。
- ・ろう学校と該当学年(居住地校交流など)の子どもたちが交流する。

職員

- ・全職員がなかよし学級の児童と機会あるごとに接し、児童一人ひとりをよく知る。
- ・現職教育の場で特別支援教育の研修を深める。
- ・担任間の連絡を密にする。
- ・部会を開き問題点を討議する。
- ・盲学校や紀伊コスモス支援学校の教職員と交流・研修をもつ。

保護者への啓発。

- ・懇談会等、機会あるごとに話し合い、理解を得る。

他機関との提携

- ・巡回相談
- ・スクールカウンセラー